

スキルブースターモジュール

研究ネットワークの拡大・構築、トランスファラブルスキル向上のために、セミナーや研修、交流の場を提供

ネットワーク構築

異なる研究領域を専門とする若手研究者（育成対象者とアソシエートメンバー）が企業の若手研究者などとの交流を通じて、多様な分野や業種で行われている研究への相互理解を深め、自身の研究に新たな視点を取り入れる機会とする。

マネジメントスキル

自分自身の研究や業務のマネジメント、研究室や研究チームのマネジメントに必要とされる様々なマネジメントスキルを学ぶことで、若手研究者のチーム運営力の向上につなげる。

コミュニケーションスキル

研究教育活動に必要な様々なコミュニケーションの手法について学ぶことで、状況や相手に合わせた伝わりやすいコミュニケーションについて習得する機会とするだけでなく、チーム力向上に必要なコミュニケーションについても習得する機会とする。

社会実践活動

産学連携や企業・公的団体・国際機関との協働のために必要な知識や考え方、手法、さらに、産業界や社会のニーズについて学ぶことを通じて、社会実装にとどまらない研究成果の社会的還元について考え、イメージの明確化を図る機会とする。

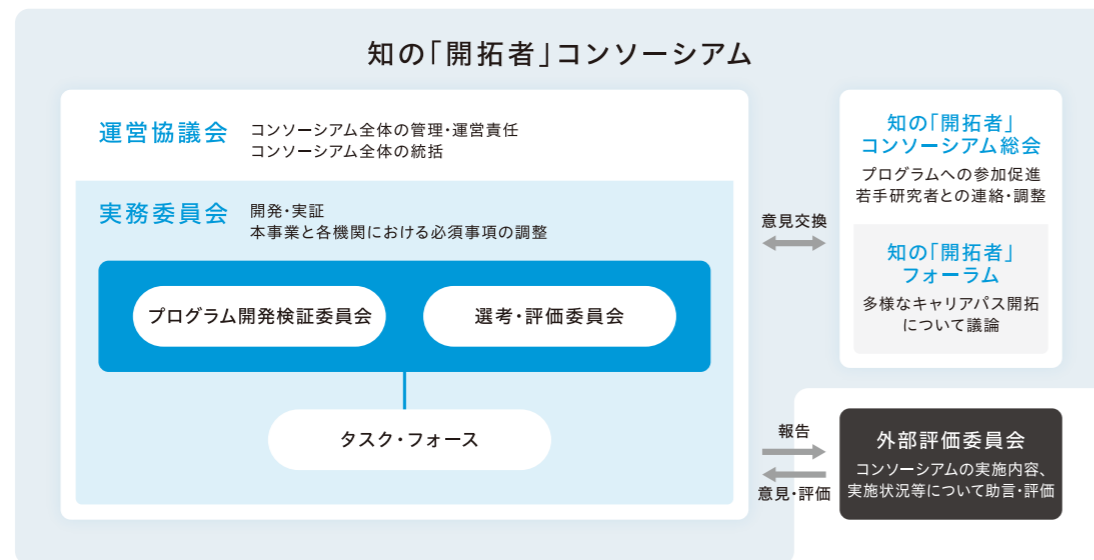
ロールモデル研究

独自に卓越したキャリアを切り拓いてきた多様な人材との交流を通じて、自分自身のこれまでのキャリアを振り返るとともに、今後のキャリアについて考える機会とする。（例：卓越したキャリアを切り拓いてきた多様な人材との交流）

リトリート

育成対象者とアソシエートメンバーの研究活動経験の共有と振り返りを通じて、若手研究者自身の研究活動やリーダーとしての行動を相互に検討し合うことを通じて、知の「開拓者」としての更なるスキルアップにつなげる。

運営体制



実施機関



名古屋大学

〒464-8601 名古屋市千種区不老町
E-mail: t-gex@adm.nagoya-u.ac.jp

岐阜大学

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1
E-mail: kokuken@gifu-u.ac.jp

Beyond the Horizon



世界的課題を解決する知の「開拓者」育成事業
Tokai Pathways to Global Excellence

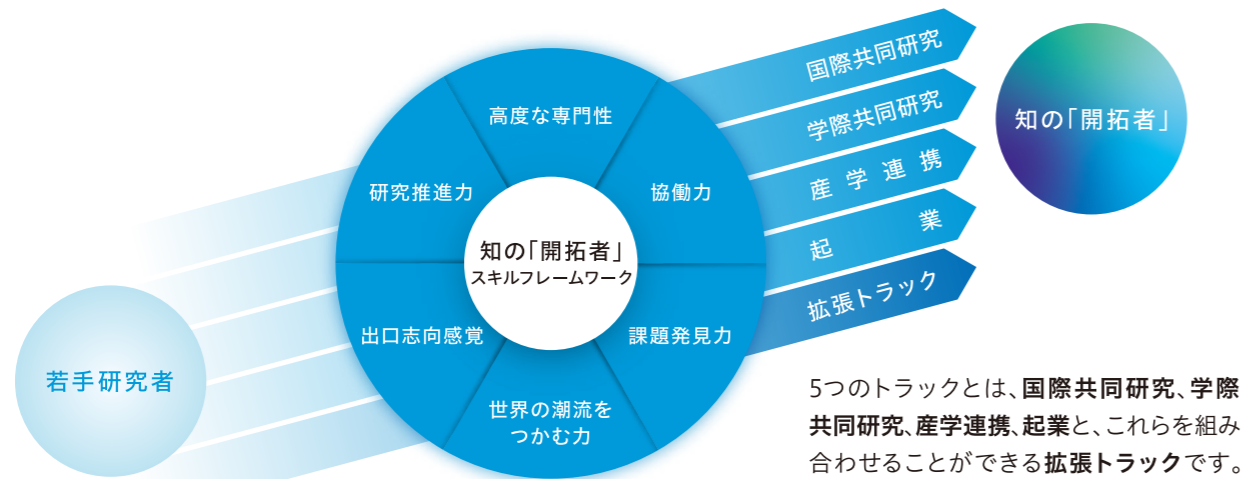
T-GExでは、世界的課題を解決する
知の「開拓者」の育成を目指します。

名古屋大学を代表機関とし、岐阜大学を共同実施機関とするT-GExプログラムの主眼は、若手研究者が大型の国際的・学際的研究プロジェクトを牽引するPIや、産学連携や起業を国内外で活発に展開する高度人材など、自らの定める方向で成長していくことを支援し、これにより、次世代に対する「ロールモデル」を輩出して、人材育成の好循環を作り出していくことです。このため、本プログラムでは東海圏内外の連携学術機関・企業とコンソーシアムを構築して、トランスファラブル・スキルの習得やネットワーク構築のための機会を提供し、テラーメード型研究費の支給を通じて連携機関の若手研究者を巻き込んだ共同研究を促進していきます。また、男女共同参画・ダイバーシティの推進やデジタル化の加速のために、コンソーシアム内での研究環境整備にも取り組んでいきます。

育成方針

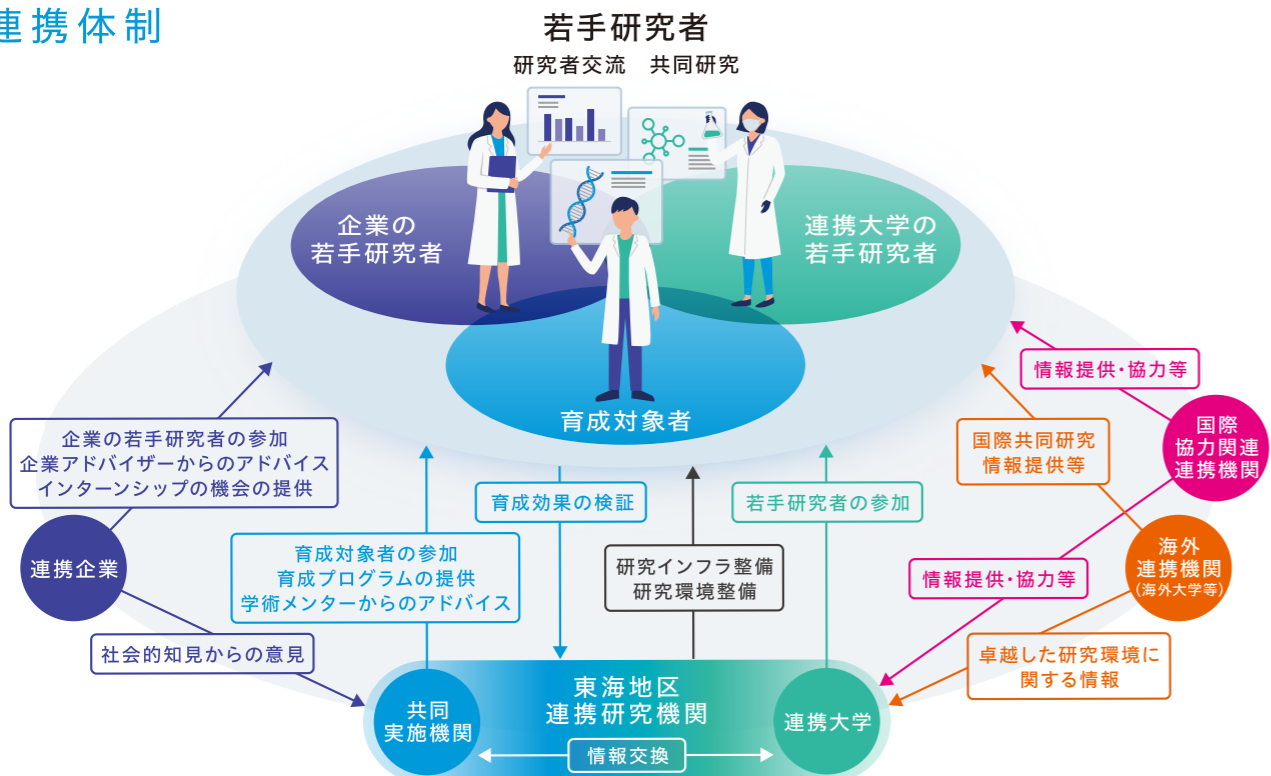
T-GExは、「国」「業種」「分野」「文化」の壁を打ち破り、異なる領域の知と経験を縦横につなぎながら新たな課題に常に挑戦し、チームを牽引して世界的課題の解決を実現する、知の「開拓者」の育成を目指します。

知の「開拓者」の育成対象者は、「高度な専門性」、「協働力」、「課題発見力」、「世界の潮流をつかむ力」、「出口志向感覚」、「研究推進力」といった能力・スキルを共通して身に着けます。加えて、将来への展望や方向性はそれぞれ異なると想定されるので、育成対象者が研究者として自らを進化させ、飛躍するための育成計画を、育成対象者が希望する5つの方向性(トラック)に合わせて策定します。



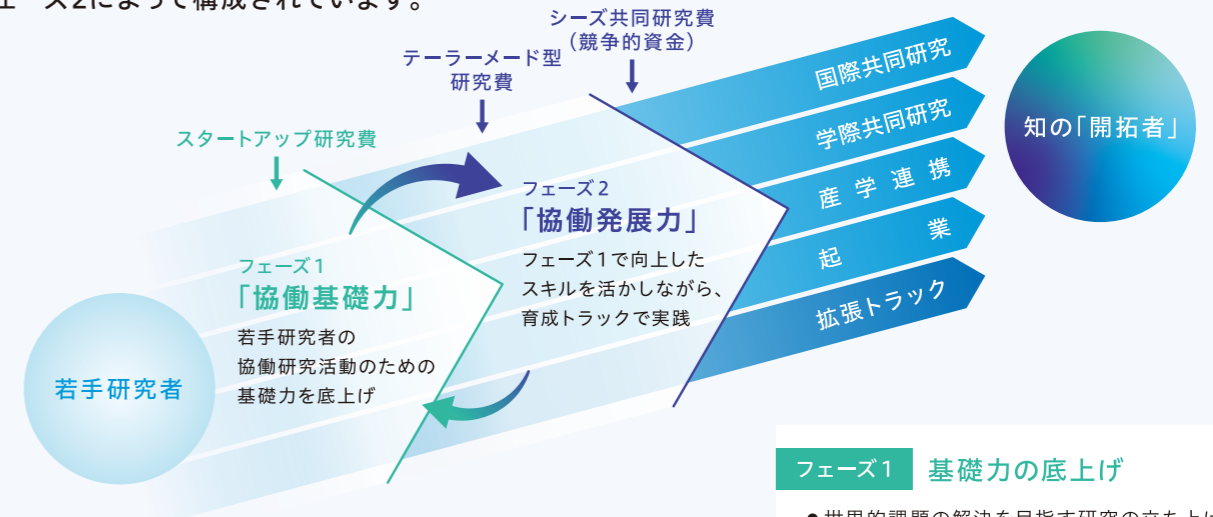
5つのトラックとは、**国際共同研究、学際共同研究、産学連携、起業**と、これらを組み合わせることができる**拡張トラック**です。

連携体制



育成プログラム

T-GExプログラムは、研究者としての「研究基礎力」を養うフェーズ1と、育成対象者が自らのニーズに適合するトラックを選定し、研究力を高度に発展させていくための「協働発展力」を高めることを支援するフェーズ2によって構成されています。



フェーズ1 育成対象者が連携機関から派遣されたアソシエイトメンバーとともに、本プログラムが提供する研究ネットワーク構築の機会やトランスファブル・スキルを身に付けるためのセミナーなどに参加して研究者としての「研究基礎力」を養います。

フェーズ2 育成対象者が自らのニーズに適合するトラックを選定し、共同研究プロジェクトなどを展開しながら研究力を高度に発展させていくための「協働発展力」を高めることを、研究資金やメンタリングなどを提供することで支援します。

さらに上記の活動をバックアップするため、研究機器や施設の共同利用システムの整備、ワークライフバランス支援の好事例の共有など、研究環境や研究インフラストラクチャーの整備をコンソーシアム内で連携機関と共同で行っていきます。

- フェーズ1 基礎力の底上げ**
- 世界的課題の解決を目指す研究の立ち上げ(スタートアップ研究費)
 - スキルブースターモジュールへの参加
- フェーズ2 育成トラックを実践**
- 国際共同研究、学際共同研究、産学連携、起業の4つのトラックから実践するトラックを選択し研究を推進(テラーメード型研究費)
 - 育成対象者とアソシエイトメンバーとの共同研究や共同事業の推進(シーズ共同研究費)

研究インフラ整備 <ul style="list-style-type: none"> ●プラットフォーム整備 ●共通機器等の共同利用 ●ワークライフバランス支援等 	研究環境整備 <ul style="list-style-type: none"> ●研究スペースの提供 	人的サポート <ul style="list-style-type: none"> ●学術メンター ●企業アドバイザー ●URA、事務
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------

支援内容

- 研究環境構築支援**
研究に専念できる環境を支援
高等研究院に所属・兼務することにより、研究エフォート50%を確保
研究スペース50㎡程度を希望に応じて措置
- 研究費の支援**
スタートアップ研究費
本事業で挑戦したい世界的課題の解決を目指す研究について、自身のニーズに合わせて使用できる研究費を支援
※上限50万円(育成開始年度のみ)
テラーメード型研究費
本事業で挑戦したい世界的課題の解決を目指す研究について、5つのトラック(国際共同研究、学際共同研究、産学連携、起業、拡張)から自身が進みたいトラックを選択。その研究経費を支援。
※上限300万円/年(育成2年度目から開始)
シーズ共同研究費
育成2年目以降の者を対象に年1回募集。アソシエイトメンバーとの共同研究あるいは共同事業を推奨。
※支援金額は予算状況により決定
- トランスファブルスキル向上のためのプログラムや異分野・異業種の研究者とのネットワークの機会(スキルブースターモジュール)の提供**
異分野・異文化コミュニケーション能力やマネジメント能力など、PIに必要なスキルの向上をサポートするセミナーや研修の提供
多様な分野の若手研究者や専門家とのネットワークの機会の提供
コンソーシアム主催の研究成果エキシビションや国際シンポジウムの開催
- 研究力分析ツールの提供**
e-ポートフォリオを活用して、研究活動やトランスファブルスキルの向上状況の管理と自己分析を実施
- メンター、アドバイザー、URAの支援**
研究計画に応じて学術メンターや企業アドバイザーを配置し、研究推進の加速化を支援
研究支援者(URA)が、研究力分析、研究推進、共同研究、アウトリーチ活動、知財管理等を支援